

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホームいいの

作成日: 令和 1年 8月 11日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		いつ発生するか分からない災害の備えの対策として、特に職員不足となる夜間想定の上での事業所独自の訓練について、慌てず避難誘導ができるように備えることが重要である。職員だけの限界も踏まえ、地域の人や近隣の人々の協力が得られるよう日頃から話し合ったり、訓練時に参加してもらえよう働きかけを期待したい。さらに様々な災害に備えて、自事業所の食糧・飲料水・他備品等の備えをすることも期待したい。	いつ発生するか分からない災害に備えて、いかなる状況下でも対応できるようにする。	運営推進会議にて避難訓練時の地域の方々の協力を依頼し、適切な対応がとれるように、特に職員不足となる夜間を想定した訓練を行う。また早急に自事業所の食料・飲料水・他備品等準備する。	12ヶ月
2		運営推進会議が2階で行われていることもあり、利用者参加が難しいと考え、家族も用事や勤めがあり、参加が難しい時があり、参加者メンバーに限られたのみで行われている現状が窺える。今後は地域密着型サービスの特徴を生かすためにも、より多様な方たちの参加が望まれる。検討や話し合った経過の記録も報告することで、現状への理解と共に、協力体制を構築されることを期待したい。	運営推進会議の場所の検討と参加メンバーの再構成をする。	運営推進会議に利用者様が参加できるように場所を考え、利用者様家族にも積極的に参加をお願いする。隣接する同事業所(いいのひかり苑)の管理者にも参加依頼する。	6ヶ月
3		日々の暮らしが楽しくなるように、日常的な散歩や外出ができるような個別の支援の工夫が求められている。今後は近隣との絆づくりに力を入れるなど、気軽に対話したり、ごく普通に利用者が在宅でしていただろう、その人らしい暮らしの継続の検討ができることを期待したい。	その人らしい暮らしの継続ができるよう、個別の支援・散歩や外出希望があれば対応できるようにする。	個人の備品については、自分で買い物に行ったり、自由に散歩や外出が出来るようにする。また、地域の行事に利用者様と積極的に参加し地域の方との絆作りをする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月